



平成26年7月1日

Araki Homevisit Rehabilitation

荒木訪問リハビリ通信

第1号(特別増刊号)

広島県地域リハビリテーション広域支援センター
医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院
荒木訪問リハビリテーション
〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082-527-1123



創刊のご挨拶

医療法人光臨会は、訪問看護ステーションからの訪問リハビリテーション（以下、訪問リハビリ）を提供していた時代も含めると、今年で訪問リハビリ部門開設10年目を迎える事ができました。これもひとえにご利用者様やご家族様、また地域の連携頂いている開業医の先生方、居宅介護支援事業所・介護サービス事業者の皆様のご理解とご支援のおかげだとスタッフ一同感謝しております。

今月から、まだ手探り状態ではありますが、この訪問リハビリ広報誌を発行する運びとなりました。利用者様の中には、他の方が何をやっているかわからず、お一人でたくさんの事に悩まれている方も多いかと思います。この広報誌などを通して少しでも情報の共有や励みになれば幸いです。今後とも宜しくお願い致します。

当事業所のご紹介

対象

主治医が必要と認めた
要支援1～2
要介護1～5
の認定を受けている方



利用時間

1回の訪問につき
40分程度
(バイタル測定、リハビリ
記録含む)



頻度

退院・退所後3か月まで
⇒週2回程度
退院・退所後3か月以降
⇒週1回程度



訪問日・訪問時間

月曜日～土曜日
(祝日も訪問致します)
(日曜日はお休みです)

訪問範囲

広島市西区全域
中区、佐伯区の一部
⇒相談に応じます

訪問リハビリテーション部門スタッフ紹介

荒木脳神経外科病院には、60数名のリハビリ療法士が在籍し、脳卒中の急性期から在宅生活まで一貫したリハビリテーションを実施しています。これからも、地域の『医療と介護』の懸け橋となるべく療法士一同精進していきます。

部長



作業療法士
今田 直樹

副主任



理学療法士
中村 翔

フットサル、スノボ、登山、マラソン、スポーツ観戦、旅行などアクティブに活動中！
「心が動けば、体は動く」というように、みなさまの気持ちの前向きになれるようにお手伝いできたらと思います。

ご自宅で皆様楽しく生き活きと生活できるように、お手伝いできればと思います。
最近、園芸に興味があります。園芸だけでなく、生活の知恵も教えて下さいね！
よろしくお願いします。



理学療法士
竹中 久美子



理学療法士
上野 朝子

日々ご利用者の皆様の生活に触れさせて頂く中で、発見が多く勉強させて頂いております。また、いつもご利用者様、ご家族様の笑顔に、元気を貰っております。私も「元気に楽しく」をモットーに頑張りますので、よろしくお願い致します。

今年の5月から訪問リハビリに配属になりました。
利用者の皆様と楽しい時間が過ごせるよう笑顔で明るく頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。



理学療法士
新井 葉子



理学療法士
長澤 由季

入院と兼務して、訪問リハビリを行っています。入院中に担当させて頂いた患者様の在宅生活にも関わらせて頂くことで、多くの経験に繋がっています。

四国の香川県出身です。入院と兼務して訪問リハビリを行っています。スムーズな退院支援や充実した退院後生活のお手伝いをさせていただきます。
よろしくお願いします。



作業療法士
落合 香織



言語聴覚士
辻 法子

入院と兼務しています。
ご自宅でおいしく楽しく、イキイキ生活できるようお手伝いさせていただきます。皆さんの生活のお話を聞かせて下さい。よろしくお願い致します。

2歳になるおてんば娘に振り回されながら、家事に仕事に奮闘中です。
みなさまの生活の中に少しでも多くの いろどりを添えられるようお手伝いしていけたらと思います。



事務
中津 真由美



事務
平井 明佳

今年1月より入社しました。
出身は愛媛県です。
小学生2人の子育てと仕事を両立させて頂いて頑張っています。
よろしくお願いします。

いろどり

訪問リハビリでは、筋力トレーニングなどの自主トレーニング、歩行練習などの身体機能練習に加え、家事動作練習やお買い物、趣味活動などへの参加のお手伝い、福祉用具の提案や環境調整、ご家族様への指導をさせて頂いております。この『いろどり』では訪問リハビリやご自宅での活動を通して、前向きに生活を営んでいるたくさんの利用者様を紹介していきたいと思います。皆様それぞれ生活の色は違うと思いますが、励みとなれば幸いです。

左片麻痺を呈し、当院へ入院されたA様。退院後、「ゴルフを再開したい。」を目標に、訪問リハビリを利用されています。

自主トレーニングとして、手足の運動やストレッチは毎日実施されています。また、ゴルフのスイング練習や趣味である園芸や料理や篆刻などにも積極的に取り組まれています。



入院中のリハビリで、屋外歩行練習をしている際に、ブドウ棚を見つけ、「自宅でブドウを育てたい!!」という事で、退院直後にブドウの苗を購入されました。「ブドウの世話は自分でしたい!」という事で、奥様の協力は得ず、お一人で育てておられます。

今年初めて実がなったという事で披露してくださいました。

毎年小さな花が咲くカモミール。「乾燥させると芳香剤となるよ。」と教えて下さいました。

カモミールは、ギリシア語で「大地のリンゴ」という意味があります。リンゴのような甘酸っぱい香りがします。

「今の涼しい時期だからできるけど、中腰で花を摘む事は、意外としんどいんですよ。でも、これもリハビリです。」と話してくださいました。



中国新聞に掲載されていた記事を見て、蚊よけスプレーを作られました。

瓶に度数の高いアルコール（ウォッカ）とローズゼラニウムを入れると完成です。

庭の手入れをする際など、この時期最適です!!

左手で瓶を支えたり、持ち運ぶ事もリハビリの一環となっています。

「植物の世話をしていると、自然の生命力の強さを感じると同時に、人間の生命力の強さを感じる。手をかけて世話をすると良いものが出る。人も一緒です。リハビリって大事だね。」とコメントを頂きました。



募集



「いろどり」コーナーでは、作品や生活の工夫など皆様の生活にいろどりをつけている物・事を募集しています。

皆様の“いろどり”を教えてくださいね♪♪

平成26年度 広島県地域リハビリテーション広域支援事業

「地域リハビリテーション連携の会

第3回 リハ・カフェ in 広島西」

日時：平成26年6月26日（木）18:30～20:30

テーマ：住み慣れた地域にスムーズにもどるには

場所：荒木脳神経外科病院1階 リハビリテーション室

47施設115名の方にご参加いただきました。

医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、平成25年4月に広島県から指定を受け、地域リハビリテーション広域支援センターとして活動しています。

その取り組みの一つとして、「地域リハビリテーション連携の会 リハ・カフェ in 広島西」を開催し、広島二次保健医療圏内の医療介護従事者の連携を図っています。高齢社会が進む中で「障害を持ったり、年をとっても自分らしく生きていける」こと・方法・実践を広く学び、そのことを伝えていく事が大切です。

参加者の皆様には、「日々の連携に関する工夫や悩み」だけでなく、話題提供についてなど活発に自由な意見交換をしていただき、「明日からでも各参加者が取り組めること」を発表して頂きました。

顔の見える関係を築き、患者様・利用者様のために医療と介護のスムーズな連携がとれる良い機会となりました。



第4回

日本訪問リハビリテーション協会

学術大会 in 熊本

「妻と最後まで一緒に暮らしたい」との想いを尊重した在宅生活支援～訪問リハビリテーションの立場から～

発表：中村 翔（理学療法士）

平成26年6月7日（土）～8日（日）に熊本で行われた学術大会に参加してきました。

本大会のテーマは「地域包括ケア時代の訪問リハビリテーション～その多様性と可能性～」ということで、地域や在宅で生活機能の向上を促す訪問リハビリテーションはますます重要になってくると考えます。

今後も皆様から選ばれる事業所となるため、スタッフ一丸となり日々精進していきたいと思います。

